



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 花月園観光株式会社

コード番号 9674 URL <http://www.kagetsuenkanko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松尾 嘉之輔

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 堤 道雄

TEL 045-228-8860

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	229	—	△7	—	△90	—	49	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	2.81	—
23年3月期第3四半期	—	—

(注)平成23年3月期第3四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,344	617	45.9
23年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 617百万円 23年3月期 —百万円

(注)平成23年3月期につきましては、連結財務諸表を作成し、財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310	—	△2	—	△87	—	52	—	2.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	17,666,000 株	23年3月期	17,666,000 株
24年3月期3Q	78,506 株	23年3月期	77,569 株
24年3月期3Q	17,588,157 株	23年3月期3Q	17,590,881 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
当四半期累計期間における重要な子会社の異動	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 四半期損益計算書関係	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社は、前第3四半期累計期間は四半期財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っておりません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の景気の停滞からは穏やかに回復しつつあるものの、長引く円高やギリシャをはじめとする欧州の財政危機、タイで発生した大洪水による影響など、国内外において懸念すべき問題も依然として多く、先行き不透明な状態で推移しました。

このような状況のもとで、当社では、福島県南相馬市のサテライトかしまが東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により営業再開の目途が立たない状況であります。

サテライトかしまの被った損害賠償については、平成23年3月から8月の期間分は8千万円で東京電力㈱と合意し12月に特別利益を計上いたしました。引き続き、平成23年9月から11月の期間分も東京電力㈱と協議していましたが、平成24年1月末に3千9百万円で合意し第3四半期会計期間に特別利益として追加計上いたしました。なお、平成23年12月から平成24年2月分までは所定の補償期間として東京電力㈱との協議を続ける予定であります。しかし、それ以降の補償については、今現在未定となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、3月の震災の影響が大きく、業績は大きく落ち込み2億2千9百万円となりました。営業損失は7百万円、経常損失は借地権認定訴訟の費用、支払利息等があり9千万円となりました。

また、特別利益として受取和解金10億円（神奈川県に対する借地権確認請求訴訟の和解金）、債務免除益3億4千1百万円（神奈川県競輪組合に対する損失補填額の減免）、受取補償金4億7千万円（選手宿舍賃貸借契約の違約金、東京電力㈱からの営業損害賠償金）等合計18億1千8百万円を計上し、特別損失として固定資産売却損9億9千5百万円、減損損失6億6千万円、災害損失2千万円等合計16億7千5百万円を計上し、この結果、四半期純利益は4千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4億3千9百万円となり、前事業年度末に比べ4千9百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4千9百万円減少いたしました。売掛金が4千8百万円、その他の流動資産が4千9百万円増加したことによるものであります。固定資産は9億5百万円となり、前事業年度末に比べ32億5百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が27億5千8百万円、投資有価証券が6千5百万円、子会社株式が3億7千百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1億7千8百万円となり前事業年度末に比べ27億2千3百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が10億7千5百万円、1年内返済予定長期借入金が11億1百万円、未払金が5億2千5百万円減少したことによるものであります。固定負債は5億4千8百万円となり、前事業年度末に比べ4億7千7百万円減少いたしました。これは主に長期預り金が1億3千万円増加しましたが、長期未払金が3億9千6百万円、長期借入金が1億7千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7億2千7百万円となり、前事業年度末に比べ32億円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は6億1千7百万円となり、前事業年度末に比べ4千4百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益4千9百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.9%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年1月31日公表の「特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」の通期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期累計期間における重要な子会社の異動

当社は、当第3四半期会計期間において連結子会社であった㈱サテライト横浜の株式を譲渡したため、非連結となりました。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、当第3四半期累計期間において、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響で、競輪開催の一部中止及びサテライトかしまの営業中止が続いており、前事業年度から引き続き7百万円の営業損失を計上しております。また、借入金返済と新たな運転資金の調達のために、平成23年11月に子会社のサテライト横浜の全株式を譲渡（5年以内に買戻しできる権利を有する。）し、金融機関より新規借入を行いました。が、主力事業所であるサテライトかしまの営業中止が続いているため今後の資金繰り等への影響が懸念される状況が続いております。

これらの状況から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該事象等を解消し又は改善すべく、サテライトかしまの4月以降の再開及びサテライト横浜の業務受託の継続により業務の改善を図るとともに、サテライトかしまの休止期間にかかる営業損害補償金の請求を東京電力(株)に行い、一部合意し、受取補償金を特別利益に計上し、収支の改善を図っております。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	232,307	183,181
売掛金	52,295	101,182
短期貸付金	—	80,000
関係会社短期貸付金	80,000	—
その他	25,025	74,997
流動資産合計	389,628	439,362
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,889,321	368,991
構築物（純額）	393,036	22,705
機械及び装置（純額）	1,271	953
車両運搬具（純額）	105	49
工具、器具及び備品（純額）	583	383
土地	1,310,339	443,206
有形固定資産合計	3,594,658	836,289
無形固定資産	27,487	16,728
投資その他の資産	488,665	52,192
固定資産合計	4,110,811	905,210
資産合計	4,500,439	1,344,572

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	209	—
短期借入金	1, 075, 760	—
1年内返済予定の長期借入金	1, 122, 300	21, 000
リース債務	29, 840	29, 840
未払金	634, 435	108, 950
未払法人税等	5, 197	6, 974
前受金	181	181
預り金	33, 727	11, 458
流動負債合計	2, 901, 651	178, 405
固定負債		
長期借入金	404, 400	229, 000
リース債務	99, 468	77, 088
長期未払金	408, 910	12, 557
繰延税金負債	23, 038	19, 488
退職給付引当金	58, 053	51, 420
負ののれん	27, 420	24, 296
長期預り金	—	130, 000
その他	5, 000	5, 000
固定負債合計	1, 026, 292	548, 851
負債合計	3, 927, 943	727, 257
純資産の部		
株主資本		
資本金	883, 300	883, 300
資本剰余金	399, 649	399, 649
利益剰余金	△708, 969	△659, 565
自己株式	△9, 721	△9, 751
株主資本合計	564, 259	613, 631
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8, 237	3, 683
評価・換算差額等合計	8, 237	3, 683
純資産合計	572, 496	617, 315
負債純資産合計	4, 500, 439	1, 344, 572

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	229,324
売上原価	50,645
売上総利益	178,679
販売費及び一般管理費	186,013
営業損失(△)	△7,334
営業外収益	
受取利息	2,979
受取配当金	1,349
負ののれん償却額	3,123
雑収入	3,236
営業外収益合計	10,689
営業外費用	
支払利息	49,120
訴訟関連費用	30,090
減価償却費	3,574
租税公課	7,088
その他	4,468
営業外費用合計	94,341
経常損失(△)	△90,986
特別利益	
受取和解金	※1 1,000,000
債務免除益	※2 341,543
受取補償金	※3 470,264
投資有価証券売却益	6,741
特別利益合計	1,818,548
特別損失	
減損損失	660,221
固定資産除却損	163
固定資産売却損	995,095
災害による損失	20,398
特別損失合計	1,675,878
税引前四半期純利益	51,683
法人税、住民税及び事業税	2,280
法人税等合計	2,280
四半期純利益	49,403

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社は、当第3四半期累計期間において、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響で、競輪開催の一部中止及びサテライトかしまの営業中止が続いており、前事業年度から引き続き7,334千円の営業損失を計上しております。また、借入金返済と新たな運転資金の調達のために、平成23年11月に子会社のサテライト横浜の全株式を譲渡（5年以内に買戻しできる権利を有する。）し、金融機関より新規借入を行いました。主力事業所であるサテライトかしまの営業中止が続いているため今後の資金繰り等への影響が懸念される状況が続いております。

これらの状況から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該事象等を解消し又は改善すべく、サテライトかしまの4月以降の再開及びサテライト横浜の業務受託の継続により業務の改善を図るとともに、サテライトかしまの休止期間にかかる営業損害補償金の請求を東京電力(株)に行い、一部合意し、受取補償金を特別利益に計上し、収支の改善を図っております。

しかし、サテライトかしまについては福島第一原子力発電所事故による諸問題が解決されておらず、対応策を開発者と協議中であるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表には反映しておりません。

(4) 四半期損益計算書関係

※1. 受取和解金の内容

神奈川県に対する借地権確認請求訴訟の和解金 1,000,000千円

なお、詳細につきましては平成23年4月5日発表の「和解による訴訟の解決に関するお知らせ」をご覧ください。

※2. 債務免除益の内容

神奈川県競輪組合に対する損失補填額の減免 341,543千円

なお、詳細につきましては平成23年5月10日発表の「損失補填の減免に関するお知らせ」をご覧ください。

※3. 受取補償金の内容

神奈川県競輪組合と締結した「花月園競輪選手宿舍賃貸借契約」の違約金収入 351,000千円

なお、詳細につきましては平成23年5月10日発表の「損失補填の減免に関するお知らせ」をご覧ください。

サテライトかしまに関する東京電力(株)からの賠償金収入 119,264千円

なお、詳細につきましては平成23年12月27日及び平成24年1月31日発表の「特別利益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。